

地元要求掲げ国会議員と省庁交渉

兵庫・奈良県議団

党兵庫県議団は8日、奈良県議団は9日、地元要求を掲げて省庁交渉を行いました。これには兵庫・ねりき恵子（団長）、いそみ恵子、入江次郎、きた結、庄本えつこ各県議、奈良・山村幸穂（団長）、太田あつし、宮本次郎各県議が参加。穀田恵二、宮本岳志両衆院議員、山下芳生、大門実紀史両参院議員が同席し、一緒に要求実現を迫りました。兵庫の交渉には堀内照文前衆院議員が参加、市田忠義参院議員が激励に訪れました。



兵庫県議団とともに申し入れする山下さん、堀内さん

兵庫 16テーマ 31項目で要請 災害資金返済免除問題「先送りできない」と内閣府

兵庫県議団は16テーマ、31項目で文科、厚労、国交、総務、環境の各省と内閣府に要請しました。

文科省では、特別支援学校がマンモス化し学校が新設されたのに早くも特別教室が普通教室に転用されているなどの実態を示し、設置基準が必要だと迫りました。厚労省では、地域医療確保、難病対策の推進、保育士処遇改善、DV被害者への支援強化などを要請しました。

内閣府には阪神淡路大震災被災者支援で、①災害援護資金の返済免除は自治体の判断を尊重すること②自治体の判断で保証人の保証契約を解除できるようにすることを要求。突っ込んだ議論になり、内閣府としても「これ以上先送りは許されない」として、関係自治体と協議し、方向性を見出していきたいと答えました。

環境省には、神戸製鋼の火力発電増設計画の中止を要求。省側は「石炭火力発電はなくしていくべきものと認識している」と表明しました。同社のデータ改ざん事件では、環境アセスの元データに対する信用がないとして国の責任で元データの検証を求めました。



兵庫の交渉に参加した宮本さん

奈良破壊許さない 古都の地下通る道路で木簡が危ない、文化財の保存軽視の法改定を批判

奈良県議団は▽京奈和自動車道・大和北道路建設計画の中止▽文化財保護法改定と奈良公園内のホテル計画▽旧奈良監獄に収監されていた政治犯の事績展示について国交省、文化庁、法務省と交渉しました。



奈良の交渉に参加した穀田さん、大門さん

大和北道路は「世界遺産・古都奈良の文化財」の真ただ中を通過する計画。トンネルなら地下水に守られてきた木簡などの埋蔵文化財が消失する恐れがあります。98年の5全総で提起され、建設費

は3100億円。県は多額の負担に耐えられないとトンネル部分の整備は進めないと表明していましたが今年1月、関西財界と県が国交省に事業化を要望しました。交渉では渋滞対策を行えば、計画は必要ないことを指摘。国交省は「要望を受けただけ」と答えましたが、「遺跡を破壊しないやり方を検討する」とも答えました。

名勝・奈良公園内で幾重もの規制で景観や環境が守られている区域で、県がホテルを計画している問題。文化庁がこれを許可したことについて経過説明を求めるとともに、文化財保護法の改定（今国会に提出）の問題点をただしました。同法改定で文化財を「経済振興の核」としていることについて、「ホテルの許可は改定の先取り」と厳しく追及しました。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel 06(6975)9111 Fax 06(6975)9115

No. 8(2018.2.10)

